

授業科目名	人間教育実践力開発演習 (2100306)		
時間割名	人間教育実践力開発演習 (42126)		
時間割担当	松井典夫 伊崎一夫		
実施期	通年	単位数	1 選択
曜日・時限	木・2		

授業の目標・概要

これまで3年間の活動を総括し、自らの活動履歴を集約・発表を行う。1年生に対しては、本授業の意義や取り組み方などについて伝達・援助を行う。さらには、活動開始を先導し、下学年の活動への助言・示唆をするために、各グループのアドバイザーとして関わる。以上のような活動をまとめ学習成果報告会を企画・運営する。

学習の到達目標

- ・下学年への助言や示唆を通して、コミュニケーション力、企画力、行動力において、それらの力を活用することができる能力を高める。
- ・下学年の活動アドバイザーとして関わりを持つことにより、実践的これまで身につけてきた実践的指導力を発揮し、さらにその能力を高めていく。
- ・これまでの学習成果を、どのような形で下学年に伝えることが、より実践力に結びつくかを考えながら企画し、成果発表会を実施することができる。
- ・成果発表会から、さらに将来に向けての個々の課題や、現代的教育課題を明確に把握し、課題の解決をはかる意欲を高めることができる。

授業方法・形式

- ・グループでの討議形式によって、本授業の履修者が中心となった授業展開を行う。
- ・これまでの学校現場での体験や得たもの、気付いた留意点などを、発表形式で下学年に伝えていく。その際に、教員はアドバイザーや発表内容の支援者として関わっていく。
- ・各教育委員会や学校主催の研究会等に積極的に参加するとともに、その学びについて、下学年に小グループや発表形式で伝えていく。

授業計画

【前期】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 グループ討議 「私が経験した学校現場」
- 第3回 グループ討議 「私が見た教師像」
- 第4回 グループ討議 「私が出会った子どもたち」
- 第5回 グループ討議 「私が見た授業」
- 第6回 グループ企画会議 テーマ決定
- 第7回 グループ企画会議 発表内容、方法の決定
- 第8回 グループ企画会議 発表準備
- 第9回 グループ発表・全体討議
- 第10回 グループ発表・全体討議
- 第13回 グループ発表・全体討議
- 第14回 グループ発表 総括
- 第15回 前期振り返り

【後期】

- 第1回 学校教育課題 いじめについて
- 第2回 学校教育課題 - 2 グループ討議
- 第3回 学校教育課題 学級経営と学級崩壊
- 第4回 学校教育課題 - 2 グループ討議
- 第5回 学校教育課題 学校安全について
- 第6回 学校教育課題 - 2 グループ討議
- 第7回 学校教育課題発表 テーマ決定
- 第8回 学校教育課題発表 発表準備
- 第9回 学校教育課題発表 グループ発表
- 第10回 学校教育課題発表 発表総括
- 第11回 個々の課題追究 グループで問題点や追究テーマの共有
- 第12回 個々の課題追究 発表方法や内容の決定、準備
- 第13回 個々の課題追究 グループ発表、代表選出
- 第14回 個々の課題追究 全体発表、総括
- 第15回 後期、1年の振り返り

成績評価の基準

授業態度、出席、学びの成果、課題追究、レポート、発表などによって総合的に評価する。

授業時間外の課題

- ・グループでの取り組みについては、授業外でも積極的に行うこと。
- ・課外での研究会等には積極的に参加すること。

メッセージ

本講義において、「人間教育実践力」を高め、社会での自身の姿を想定しながら、具体的にイメージして学ぶようにしてください。また、協同的な活動場面が多くなります。その中で、他者比較、他者評価を通して自分を見つめ、課題を追究する機会にしてください。

教材・教科書

特になし。必要に応じて指示します。

参考書

特になし。必要に応じて指示します。